

# 令和4年度コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動関係者研修会 (離島地区：五島市) 概要

1 日 時 令和4年6月2日(木) 13:30~16:30

2 会 場 五島市役所 3-ABC会議室

3 参加者 計26名

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進するために、子どもの育成に携わる地域と学校の関係者が一堂に会し、講義や実践発表、グループ協議を通して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について理解し、実践につなげることをねらいとして開催しました。

4 内 容

- (1) 講 義 ①「コミュニティ・スクールについて」  
長崎県教育庁義務教育課  
②「地域学校協働活動と地域学校協働本部について」  
長崎県教育庁生涯学習課
- (2) 実践発表 「吉岐市立志原小学校 志原っ子育成協議会の実例」  
志原地区まちづくり協議会 内山 圭三 氏

学校運営協議会とまちづくり協議会が連携して取り組んでいる志原地区における成り立ちや組織の概要、これまでの実践、まちづくり協議会との連携、成果と今後の取組等についてお話いただきました。参加者からは、「これからの学校と地域の連携の在り方と具体的な手立てを知ることができた。今後の参考にしていきたい。」「放課後子ども見守り教室は、教員にとっても、子どもにとっても非常に有意義な取組だと感じた。地域の温かさを感じるすばらしい発表だった。」などの感想が寄せられました。



(3) グループ協議

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を進めていくためには、まずは、学校運営協議会や学校支援会議等で、地域と学校が子どもを育てる共通の目標(目指す子ども像)を共有することが大切です。そこで今回、地域関係者と学校関係者がグループ協議により、地域と学校が連携・協働できることについて考えていただきました。

参加者からは、「グループ協議で他校のよさ課題を聞く中で、新たに自校の課題に気づいた。そして、子どもにも、地域にも、保護者にも目標を共有する大切さを改めて感じた。」「目標やビジョンの共有の仕方がよく分かった。また、このような体験ができたことは、とても貴重だった。」などの感想が寄せられました。

